

令和5年度 児童生徒体力づくり推進計画書（中学校用）  
～元気パワーアップ作戦～

学 校 名 越前町立朝日中学校

自己評価・他者評価を活用した学び合いを通して、学習意欲の高まりと、体力、競技力の向上を図る取り組み

<保健体育の授業について>

- 学習カードを用いて、自己評価や他者評価を行いながら授業の振り返りをする。また、次の授業のめあてをもたせる。
- 单元ごとに、ペアやグループ活動を取り入れ、生徒同士の話し合いや学び合いの機会を設ける。
- ICTを活用し、分かりやすい授業の展開に心掛け、正しいフォームなどを客観的に見て確認し合う活動を取り入れる。
- 目標突破者や記録上位者の記録を掲示し、意欲を高める。
- 保健の授業では、タブレット機器などのICTを活用し、図や写真、グラフなどを提示し、分かりやすい授業展開にする。
- 各单元に関連した補強運動を充実させる。

<特別活動について>

- マラソン大会を実施し、持久力の向上を図る。全学年同じコースを走り、タイムレースを行うことで、全校生徒で競争する意識を高める。
- 体育行事には、めあてを持たせて意欲を高め、必ず自己評価させていく。
- 委員会活動で学校の体力や県との比較、健康のデータを広報し、体力向上の啓発を行う。
- 長期休業中の体力づくりについて、委員会活動を通して呼びかける。

<運動部活動について>

- 体力テストの結果を運動部顧問に提供し、各部のトレーニングに生かす。
- 各部活動ごとに、目標を立て、校内に掲示することで、部活に対する競争意識と意欲を高め、競技力の向上を図る。

<その他（家庭や地域との連携策：中学校のみ）>

- 社会体育活動や総合型スポーツクラブ（えちぜんスポーツクラブ）への参加を積極的に呼びかける。
- 剣道の授業では新型コロナ感染状況に応じて、剣道具をどの程度まで使用するか、生徒同士の打ち合いをどの程度まで行うかについて検討する。

令和5年度 児童生徒体力づくり推進計画書  
～元気パワーアップ作戦～

学 校 名 越前町立宮崎中学校

自ら学び、共に高め合い、生涯にわたって  
健康的なライフスタイルを築こうとする生徒の育成

<保健体育の授業について>

- ・本校の教育目標「主体性・協働性・創造性の育成」を踏まえ、生徒自らが目標（めあて）をもち、主体的に課題と向き合う授業づくりに努める。
- ・主体的な学びを促すため、単元はじめのオリエンテーションを重視し、生徒が単元全体的見通しをもって学習に取り組めるようにする。
- ・主体的な学びにつなげるため、単元の中で、タブレット等で自分や友達の動きを映像で再現・確認する場を設定する。
- ・対話的な学びを促すため、授業の中で、学習したことを表現し合う時間を設定する。
- ・学びの成果を実感し、学んだことを次時への意欲や新たな課題につなげるため、「振り返り」の時間を設定する。
- ・保健学習では学校生活や社会生活と関連性のある学習課題を設定し、健康で安全なライフスタイルを築くことに関心を向け、自分の健康は自分でつくるという意識を高める。

<特別活動について>

- ・薬物乱用教室やひまわり教室、中体連大会等とのカリキュラムマネジメントを意識した保健の授業を立案計画する。（学校行事等と保健学習の関連）
- ・体育祭、校内スポーツ大会など、体育委員会を中心とした生徒主体の体育的行事の計画立案・準備・運営などを通じて、支えるスポーツ活動の充実を図る。

<運動部活動について>

- ・国、県、町のガイドラインや方針を踏まえて、部活動全体計画を作成し、適切な運動部活動の運営に努める。
- ・部活動懇談会を開催し、活動の意義や指導方針を伝えたり、保護者の思いを聞いたりすることで、家庭との連携をより深める。
- ・部長と顧問が相談して練習メニューを作成し、自主的な活動を支援する。
- ・文化部も含めたキャプテン・部長会議を設け、活動時の課題や体力の向上について話し合い、実践に結びつけていく。

<その他（家庭や地域、外部団体等との連携、コロナ禍での工夫や取組み等）>

- ・地域のスポーツイベントへの積極的な参加を促し、地域の方との交流を深める。

令和5年度 児童生徒体力づくり推進計画書（中学校用）  
～元気パワーアップ作戦～

学 校 名 越前町立越前中学校

自ら求め、磨き、高め合う生徒の育成

- ・自分の健康・体力に興味・関心を持たせ、主体的に体力向上に取り組ませる。
- ・特に筋力、筋持久力、持久力の向上を目指す。

<保健体育の授業について>

- 保健体育係を中心に、授業の活性化を図る。
- 時間走や補強運動を継続的に行い、体力の向上に努める。
- 体力テストの結果をふまえ、生徒一人ひとりが自己の体力を振り返り、更なる体力向上を目指す。※体力テストの結果のファイリング、結果の考察を行う。
- 1年～3年まで各種目の学習カードをファイリングし、記録の伸びをみる。
- 各種目の記録上位者を掲示し、生徒の意欲付けにつなげる。
- 保健の学習を通して、健康・安全に関する理解を深め、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を養う。
- 4月にマラソンを取り入れ、体づくりを行う。
- 効果的なタブレットの活用方法について研究し、よりよい授業づくりを目指す。

<特別活動について>

- 体育授業の学びを試す場として、球技大会やダンスの発表会等を行う。
- 自分の心と体の健康状態を自己チェックできるカードを使い、健康面の自己管理能力を向上させる。（養護教諭と連携）

<運動部活動について>

- 各部活動ごとの体力テストの結果を配付し、今後のトレーニングに生かす。
- 各顧問の共通理解のもと部活動の活性化と体力向上を目指す。
- 全ての運動部が集まって、合同トレーニングを実施する。（冬季 週1回程度）
- 生徒数減少を見据え、近くの中学校と協力して部活動を行う。

<その他（家庭や地域、外部団体等との連携、コロナ禍での工夫や取組み等）>

- 部活動の大会結果や活動状況を掲示物や学年便りにて積極的に知らせる。
- 学校外のクラブで活動する生徒の活動状況を把握し、大会結果などを他の部活動と同じように掲示する。
- 地区や小学校の体育的行事への参加を積極的に呼びかけ、地域との連携を深める。
- コロナの感染状況を踏まえ、体育の授業と保健の授業の実施時期を入れ替えたり、学習内容を変更したりする。

令和5年度 児童生徒体力づくり推進計画書（中学校用）  
～元気パワーアップ作戦～

学 校 名 越前町立織田中学校

- ・教科体育での運動量の充実
- ・生徒が主体的に取り組む体育的活動

＜保健体育の授業について＞

- ・全ての単元において、運動量の充実を図る。
- ・体力テストやマラソン、持久走など、記録を計測できる種目に関しては、学年ごとの目標記録を示し、目標記録突破者や記録上位者のランキングを掲示し、生徒の意欲の向上に努める。
- ・年間を通して準備運動にストレッチや補強運動を取り入れ、基礎体力の向上に努める。
- ・保健や体育理論において、運動（スポーツ）が心身や社会性に及ぼす効果について伝え、日常生活や生涯にわたって運動を取り入れたりスポーツを行ったりすることの大切さを考えさせる。
- ・事故防止に努め、熱中症対策として、体育の授業において帽子の着用や水分補給を行ったり、活動場所や器具の点検・整備・修繕を行ったりする。

＜特別活動について＞

- ・マラソン大会、体育祭、校内球技大会など、体育係を中心とした生徒主体の体育的行事の充実を図る。

＜運動部活動について＞

- ・国・県・町・中体連のガイドラインや方針を踏まえ、本校の活動方針を作成し、部活動の運営に当たる。
- ・部活動部長会や部活動内でのミーティングを定期的に行き、成果や課題等を確認したり共有したりすることで、より主体的で活発な活動になるようにする。
- ・3年生においては、1学期間活動を行うことで運動の機会を増やせるようにする。

＜その他（家庭や地域、外部団体等との連携、コロナ禍での工夫や取組み等）＞

- ・町や地区が企画するスポーツイベントについて情報を発信し参加を促す。
- ・校下の小学校の教員やスポーツ少年団の指導者等と情報交換を行う。
- ・行事や部活動の大会など保護者が観覧可能な場合、生徒との接触を避け観覧場所や行動範囲の制限をし感染防止に努める。